

カリスマ体育教師の人間教育

みやぎ中央新聞から本文抜粋

原田教育研究所代表取締役 原田隆史氏 講演

・・・例えば、部活動の陸上競技で日本一になるためにはあらゆる手段を考えて手を打つ必要があります。3年間という限られた時間の中で、計画的にこの「予測と準備」をやることにしました。

そのために「長期目標・目標設定用紙」というものを作りました。私は文字を書くこと、文章化することは思考することだと捉えています。

文章になった文字はその人の考え、やる気、決意そのものです。未来の目標と今日やるべきことを定めた用紙をもとに、目標と反省を日誌に書き、繰り返すということを、陸上部の生徒と一緒に続けました。目標を書き続けていくと少しずつ自分が目指すところのイメージができてきます。

人間は心の中で描くイメージより上に行くことはありません。表面上は体格や技術、体力の違いで勝負がつくように見えますが、実は違います。最後は心なのです。



ある時、私は陸上部の生徒に「**目標は何や？**」と質問しました。彼は「**砲丸投げで日本一になります**」と言いました。「**すごいな。いつ日本一になる？**」と聞くと、「**8月22日、長崎県の全国大会です**」と言いました。

「**その目標に対して目的は何や？**」と私は聞きました。生徒はこう言いました。「**うちは母子家庭です。お母さんが毎日働いて兄弟3人を養ってくれています。**」

その子の兄が専門学校に行ったので、母親は親戚から多額の借金をしていました。

「**先生、本当は中卒で働いて、仕送りでお母さんを助けるのが筋です。だけど、僕は将来、原田先生のような教師になりたいです。**」と言いました。嬉しかったです。

「**ええやん、いけるで**」と言うと、「**先生、日本一になるので、大阪で私立の陸上競技強豪校のスポーツ推薦、3年間の授業料全額免除と奨学金をもらってきていただだけませんか？**」と言われました。私はこういう生徒が大好きです。

「**よしっ！お前な、長崎で優勝した時点で全部もうたる。目標は砲丸投げ日本一、目的は奨学金ゲットでいいか？**」と聞いたら、「**違います**」と言うんです。

「**ほな目的はなんや？**」と聞くと、突然彼は泣き出して、こう言ったんです。「**目的は親孝行です**」周りで騒いでいた生徒たちも急に静まり、寄って来ました。

その子の目的は親孝行、そのために砲丸投げ日本一になって、高校進学の奨学金をゲットして、高校、大学で頑張って教師になる、すべては母親のためです。

結果を出す人は目標と目的を持っています。その優先順位は、目的一番、目標二番です。遠くに崇高な目的があるからこそ、途中にある目標を頑張れる。大切な心のあり方を生徒に教えてもらいました。